

総合人間科学系 全学教育センター

世界標準の英語運用能力試験で、 自分の英語力を測ってみよう！

英語を外国語として学ぶ (Learning English as a Foreign Language) 私たちを対象とした、世界標準の英語運用能力試験 (IELTS, TOEFL iBT, Cambridge English Qualifications 等) では、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を測定します。その中で、主に「スピーキングテスト」について研究しています。モノローグのタスク (問題) に焦点を当て、その提示方法が、受験者 (英語学習者) のテストにおけるパフォーマンスに与える影響を多角度から分析しています。さらに、受験者の出身国の教育システムや母語、テスト中の認知プロセスとパフォーマンスとの関連も質的・量的に分析し、妥当性や信頼性について検証しています。

言語教育部門



蓬菜 朋子 准教授

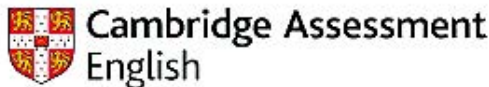
東京学芸大学大学院、教育学研究科修了 (英語教育専攻)。英国 University of Essex 大学院、言語・言語学学部修了 (応用言語学、英語教育学)。2009年信州大学全学教育機構に着任。現職に至る。

研究から広がる未来

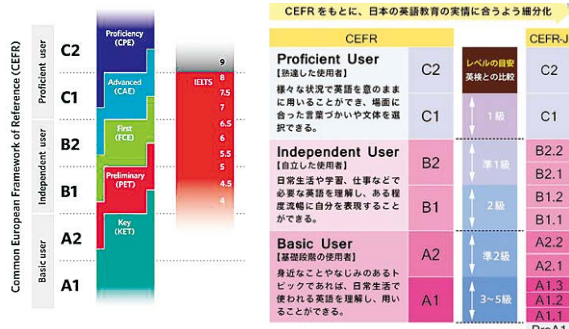
日本の中等・高等教育における英語資格・検定試験は、重要な役割を持っています。また、入学試験にもスピーキングテストが導入され始めています。これに伴い、英語教育は今後さらに変わっていくと考えられます。「試験」という環境下で、受験者 (英語学習者) のスピーキング能力が最大限に引き出せるタスクや環境の設定を、検証しながら提案していくことが重要になります。

卒業後の未来像

素晴らしい環境の信州大学で、学問や課外活動を通して自己啓発に努めてください。学生時代に異文化に触れる機会が持るといいですね。キャンパスでは留学生と交流することもできます。視野の広いグローバル人材の一員として世界に羽ばたき、活躍されるみなさんを応援しています。



世界標準の英語運用能力試験の一例



CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) と IELTS・Cambridge English のスコア換算表

CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) を基に日本の英語学習者を対象としたレベル分けが構築されている CEFR-J